

## 御館橋の歩道崩落について

直方支部 直方県土整備事務所 井口 常幸

私は現在直方県土整備事務所5年目で維持係にて仕事をしております。

今回、福建作文には直方県土生活5年を振り返り一番印象に残っている御館橋について書かせていただこうと思います。

御館橋は1959年に架設され現在53年目の橋で、筑豊本線・平成筑豊鉄道に架かる跨線橋であり、福岡市と直方市を結ぶ県道上新入直方線に架かっております。周りには直方市役所・JR直方駅などの直方市の主要施設が位置し、直方市の玄関口として重要な役割を担っております。

御館橋が他の橋梁と異なる点としては、13径間中7径間に占用物件があった事です。倉庫・スナック・理髪店等々いろんな占用物件があり、最近では客足も遠ざかり寂しい雰囲気ではありますが、以前は賑わい活気があり色んな歴史が刻まれた橋です。なんと言うか・・・昭和の香りがする橋です。

しかし、桁下空間に占用物件がありますので、橋梁調査・耐震補強も限られた部分しか出来てない状態でした。御館橋は緊急輸送道路にも指定されておりますが耐震補強・橋梁補修が完了しておらず占用物件移転が急務でした。

昨年度占用者18名と協議を重ね・・・重ね・・・重ね、やっとの思いで移転の協議が整いました。

今年度は、橋梁調査を行うために占用物件の取り壊し工事から始めました。

この工事中に事件は起きました。そうです、歩道の一部が崩落したのです。

崩落の原因としては、平成20年度に歩道舗装をコンクリート舗装からカラー舗装に変える工事の際に、舗装版を小割するために入れたカッターが深く入り、張出床版の上部鉄筋を切断した事が原因でした。

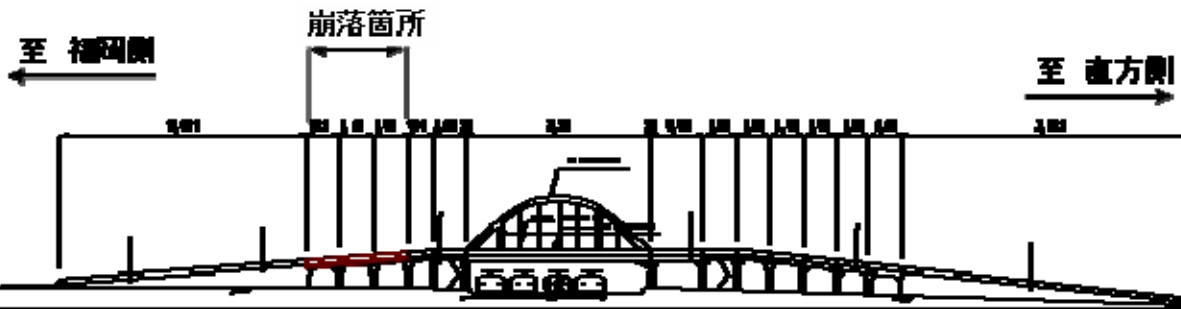
今回の事故は幸いなことに、人的被害及び第三者被害は発生しておりません。しかしながら一歩間違えればその様な状況にあった事を考えれば非常に恐ろしく感じます。

現在は崩落した歩道部に仮設歩道を設置しており以前の交通形態に復旧しておりますが、利用者に安心して使用していただくためにも、一日も早く本復旧を行いたいと思います。

復旧にあたっては、九州共立大学 総合研究所 牧角所長を委員長とした御館橋復旧工法検討委員会にて復旧方法が決まり、現在詳細設計を行っております。

来年度には復旧した御館橋が見られる事と思います。

最後になりましたが、事故の際にご尽力いただいた地元区長・直方市役所の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



以前の御館橋

福井側



直方側



① 10月24日 歩道部ミクラックが生じる



② 10月25日 歩道部が大きく傾く



③ 10月26日 撤去作業中



④ 10月26日 撤去作業完了



撤去、仮復旧

11月15日 仮設歩道供用開始

